

大久保俊輝先輩の講話を聴いて

産業開発青年隊同窓会長 鈴木 浩明

7月25日、静岡岳南モラロジー事務所主催の、講演会に参加してきました。講師は、公益財団法人モラロジー道德教育財団 特任教授・学校教育支援センター長の
大久保俊輝講師です。テーマは「課題解決のできる道德力の演習」でした。大久保講師は、昭和50年度産業開発青年隊1年次中央隊卒業の、私たちの同胞です。

中央隊を卒業され、通信大学を卒業され、教師となった先輩です。講演の始まりに、中央隊のときの話をしていただきました。当時は、最長三年の教育課程での修了で、上下関係の厳しい全寮生活の中、一年間の教育訓練のみの卒業ですので、理不尽の極みを知ったとお話しされました。私も、やはり中央隊の時の理不尽さを、体験させていただきました。

講演の中で、私が共感したことがあります。1.理不尽さの体験 2.失敗を恐れぬこと 3.相手の良いところを理解すること。4.いただきますは、あなたの命をいただきます。です。

1はこの世の中は理不尽なことが多々あり、そのことによりつぶされてしまうことがあります。生徒の登校拒否や、自殺もその一つではないでしょうか。それを知っているからこそ、苦しんでいる生徒の気持ちを察し、適切な指導を行うことができるのだと思います。家庭の中でも全く一緒だと思います。2は、失敗を恐れていれば、行動することができなくなります。失敗という種をまくことにより、痛い思いをすることもありますが、その失敗を活かし、次には、成功の種をまくことができるのだと思います。よく、目に見えぬ力にすぎる人がいますが、目に見えぬ力も、種がなければ、芽を出させることはできないのではないのでしょうか。勇気をもって行動することだと思います。3.相手の欠点を見つけることは、簡単です。良いところを探すためには、よく観察し、会話をし、よく知ることだと思います。それにより、相手の存在を、認めることができるのではないのでしょうか。4.人間が、生きていくためには、命をいただいていることを知ること。すべての、食べ物には、多くの命がかかわっています。人間が生きていくためには、ほかの命が必要であり、その命と引き換えに生かしていただいていることを知らなければならぬと思います。生きているのではなく、生かしていただいていることに感謝することを知ることが重要だと思います。命の尊さを知ることにより、幸せに生きること、平和について考えることができるのではないのでしょうか。共存共栄の価値を知ることができるのだと思います。

講演の中で、日蓮聖人のお話が出てきました。日蓮聖人は、決して、自分を考えず、相手を考え、行動してきたひとだと、お話をしていただきました。菩薩行を实践され、日蓮大菩薩とも称されています。鎌倉の時代、禅宗や、念仏宗が武士や、高貴な地位の方々に信仰され、寺社を寄進され、栄華を誇っていました。そのような時代に現れたのが、日蓮聖人です。当時は、までは考えられないほど多くの理不尽なことがあ

また、今回の講演に参加していただいた、青年隊同窓会の皆さん、講演会に参加された、皆さん、会場準備に汗をかき、もてなしていただいた、静岡県岳南モラロジー事務所の皆様方、ありがとうございました。





講演会風景



志方さんご夫婦、石川祐三先輩



菅井文明先輩、大柳さん



青年隊関係参加者の皆さんと

※松永泰然先輩もお盆の檀家周りでお忙しい中、参加していただきました。時間の都合上、帰られたため、写真撮影には同席できませんでした。